

各位

会社名 ラクスル株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 松本 恭攝  
 (コード: 4384、東証第一部)  
 問合せ先 取締役 CFO 永見 世央  
 (TEL. 03-6629-4893)

### 2022年7月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2021年12月9日開催の取締役会において、以下のとおり、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号)(以下「収益認識会計基準等」といいます。)の適用を踏まえ、2021年9月10日に公表した2022年7月期(2021年8月1日～2022年7月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

なお、同日公表した「株式会社ダンボールワンの追加取得(完全子会社化)に関するお知らせ」の通り、当社は、2022年2月1日付で、株式会社ダンボールワンの発行済株式を追加取得し、同社を完全子会社とする予定です。これに伴い、2022年7月期第3四半期より連結決算へ移行いたしますが、当社の業績への影響は精査中であり、今後、連結業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年7月期通期業績予想数値の修正(2021年8月1日～2022年7月31日)

	売上高	営業利益	non-GAAP 営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,400	250	1,000	-	-	-
今回修正予想(B)	33,200	250	1,000	-	-	-
増減額(B-A)	△6,200	-	-	-	-	-
増減率(%)	△15.7	-	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (2021年7月期)	25,523	220	833	130	160	5.62

(注1) non-GAAP 業績値は、財務会計上の数値(GAAP、日本基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社の恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社は non-GAAP ベースで予想値を開示しております。具体的には、株式報酬費用を中心に、当社が控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

(注2) 当社において収益認識会計基準等は、2022年7月期の期首から強制適用となりますが、(ご参考)前期実績(2021年7月期)の売上高は当該基準等を遡って適用した後の数値となっております。

#### 2. 修正の理由

当社において収益認識会計基準等につき検討を進めてまいり、この度その適用が決定となりましたので、その概要をお知らせいたします。

ノバセルセグメントにおける広告媒体の仕入れを伴う放映サービスにおいては、顧客から獲得する対価を売上高として認識しておりましたが、収益認識会計基準等第47項に基づき、顧客から獲得する対価からサプライヤーへの支払分を控除した額を売上高として認識する会計処理を適用することとなりました。

また、ラクスルセグメント及びハコベルセグメントのクーポン発行による値引きの金額につき、従来販

売促進費用として販売管理費で処理しておりましたが、収益認識会計基準等第 63 項に基づき、取引価格からクーポン金額を控除し売上高として認識する形に変更となりました。

利益面につきましては前回予想と変わらず、当社企業価値の源泉である売上総利益は 9,300 百万円以上（前事業年度比 30.0%以上の増加）を見込んでおります。営業利益につきましては、成長を重視し一定の再投資を継続する一方、毎年の増益を基本ポリシーとしており、営業利益 250 百万円以上、株式報酬費用を足し戻した nonGAAP 営業利益は 1,000 百万円以上を見込んでおります。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

以上